

## 道志村へのアクセス



- (乗用車利用の場合)
- 東名高速道路御殿場IC→(山中湖経由)→道志村
  - 東名高速道路厚木IC→(宮ヶ瀬、月夜野経由)→道志村
  - 中央高速相模湖IC→(藤野経由)→道志村
  - 横浜→(国道16号/相模原経由)→橋本→(国道413号/三ヶ木経由)→道志村
- (電車・バス利用の場合)
- 横浜→(横浜線/約40分)橋本→バス(三ヶ木、月夜野経由)→道志村
  - 横浜→八王子→大月→富士急都留市駅→バス(道坂トンネル経由)→道志村

「はまっどうし The Water」は、横浜市の水源 山梨県南都留郡「道志川」に注ぐ沢の清流水で、豊かな自然の恵みを詰めたとてもおいしい水です。

「はまっどうし The Water」の売り上げ金の一部は、ボランティアによる水源林保全活動やアフリカ支援に寄附されます。

お問い合わせは、水道局お客さまサービスセンターにご連絡ください。



## 水道局お客さまサービスセンター

24時間いつでもお問い合わせ可能

水道に関するお問い合わせはこちらまで

☎ 045-847-6262

FAX 045-848-4281 (おかけ間違いにご注意ください)



お引越に伴う水道の使用開始・中止

ペットボトル水・災害備蓄用水缶の配達

料金に関するお問い合わせなど

横浜市水道局ウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/suidou/>

「横浜水道」と検索してください。

平成23年4月発行



## ~山梨県南都留郡~ 道志村

この村の水源かん養林が横浜においしい水をお届けしています。

# 道志水源かん養林



- 水源かん養林の働き
- 道志水源かん養林の現状
- 水源保全の取り組み
- 道志川からの導水経路
- 沿革
- 道志村 - 緑と清流と歴史の郷 -



横浜市水道局水源林管理所

〒402-0217 山梨県南都留郡道志村9020

お問い合わせは ☎ 0554-52-2004

FAX 0554-52-2915

# 道志村

山梨県南都留郡

緑と清流と歴史の郷

山々を彩る森と林、美しく澄んだ道志川がおりなす四季の装い。そして、あくまでも自然な山里の人々の心。道志村は私たちに安らぎを与えてくれます。

道志村の豊かな特産物、各種レクリエーション施設、雄大な雄滝・雌滝、川遊び、キャンプ、ハイキング、溪流釣り、体験農園、プール、テニスそして温泉…。何日滞在しても楽しさいっぱいの道志村。横浜からわずか2〜3時間という交通アクセスも大きな魅力のひとつです。

また、清流の郷・道志村は歴史と伝統の宝庫です。源頼朝公ゆかりの的様やあちこちに残る道祖神・庚申塔のほか、東富士七里太鼓・獅子舞などの民俗芸能もあり、私たちに遠い祖先の暮らしをしるばせませす。



道志の山々

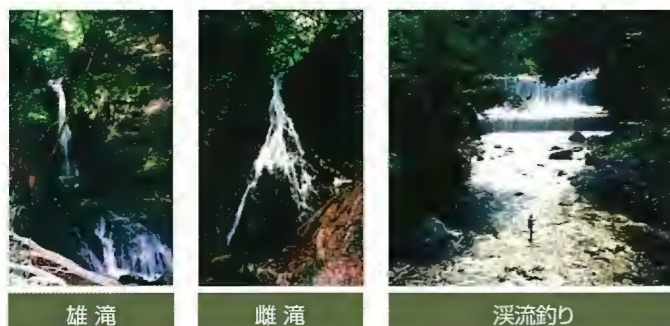


道志川



東富士七里太鼓

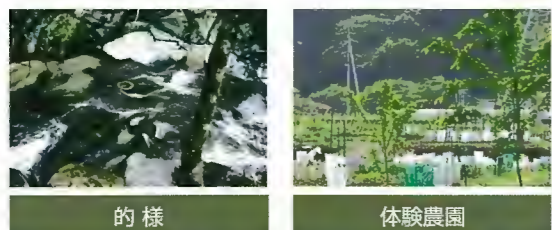
## 道志村の魅力



雄滝

雌滝

溪流釣り



的様

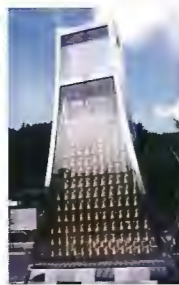
体験農園



道の駅 どうし



特産品などの直売所



時計(フェリシャスの鐘)

## 道の駅 どうし

国道413号沿いにある「道の駅」。ここには生産出荷量日本一のクレソンをはじめとする村の特産品・地元産農産物を一堂に集めた直売所や道志ならではの味が楽しめるレストランがあります。

また、観光案内もっており、旅の拠点としても活用できます。

また、観光案内もっており、旅の拠点としても活用できます。

## 道志村の概況

- 面積
 

総面積	7,957ha (東西28km、南北4km)
林野面積	7,434ha (総面積の93%)
耕地他面積	523ha (総面積の7%)
- 気象・立地等
 

年間平均気温	11度
年間平均降雨量	2,223mm/最深積雪40cm
主要道路	国道413号
主要河川	道志川(流程28km)
標高	400~820m(居住地)
- 人口世帯数(平成23年4月現在)
 

人口	1,945人
世帯数	623世帯

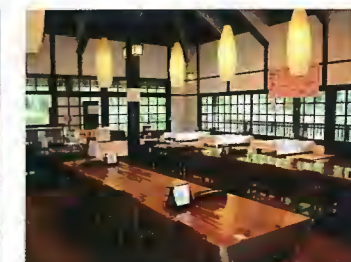
## 総合レクリエーション施設 道志水源の森

(ギャラリー水源の森・そば処水源の森)

「道志水源の森」は、豊かな森をいかした総合レクリエーション施設です。エリア内には村の歴史・生活文化・自然がわかるパネル・模型の他、道志村とゆかりの深いギャグ漫画家「富永一朗」氏の原画を常設展示しているギャラリーやミニコンサートが開催される野外音楽堂、こだわりのそば処、バーベキュー場、キャンプ場、釣り堀などの施設があります。



ギャラリー水源の森



そば処水源の森

## 道志七里マップ



## 道志・森のコテージ



道志・森のコテージ

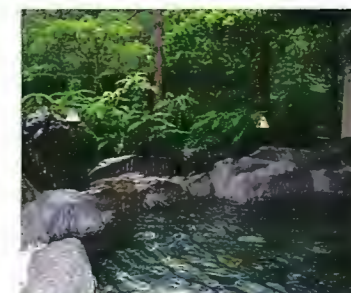
室久保川の上流にある「道志・森のコテージ」。貸バンガロー、オートキャンプ場、バーベキュー広場の他、炊事場、シャワー、ランドリー、寝具なども完備し、自然とふれあいながらアウトドアライフを満喫できます。

※道志村は東西に約28kmあり、古くから「道志七里」と呼ばれています。

## 道志の湯



道志の湯



露天風呂

道志川の支流、室久保川の溪流沿いにある村営温泉で男女それぞれの内湯と露天風呂があります。泉質はカルシウムやナトリウムを含む硫酸塩泉で、神経痛や筋肉痛、冷え性、切り傷、うちみから慢性消化器病まで幅広い効能があります。貸し浴衣や貸しタオルもあり、休憩室や食堂といった施設も充実しているので気軽にお立ち寄りください。

## 横浜市民ふるさと村

平成16年6月、横浜市と道志村との間で友好・交流に関する協定書が交わされ、道志村の協力のもと、各種施設利用料や宿泊料金において横浜市民向け優待サービスが受けられます。

詳しい情報については、横浜都市部市経政局 政策課(TEL 045-671-4082)にお問い合わせください。

道志村役場産業振興課

☎ 0554(52)2114 FAX 0554(52)2572

●道志村ホームページ  
http://www.vill.doshi.lg.jp/

●モバイル版(i-mode)URL  
http://www.vill.doshi.lg.jp/

※バーコード読み取り機能付き携帯電話をお持ちのかたは、右のバーコードを読み取ることでURLの入力を省いて簡単に閲覧できます。



# 市民の水を守る「緑のダム」



横浜市水道局キャラクター  
はまビョン

水源かん養林は、形のない貯水池「緑のダム」ともいわれおり、雨水をたっぷり吸収し、良質な地下水に浄化するとともに洪水を調整したり土砂の流出や濁水を防ぐ機能を持っています。

横浜市の水源、道志川が流れる山梨県南都留郡道志村。丹沢山塊を北側に越えたこの村に、横浜市水道局が管理する広大な水源かん養林があります。

道志村は降雨量が多く、また豊かな森林にも恵まれており、そこで育まれた道志川の水質はきわめて良好です。

道志水源かん養林は、「赤道を越えても腐らない」と賞賛された道志川の水を横浜市民に安定して送り続けるため、重要な役割を果たしてきました。

昨今、あらためて森林の持つ水源かん養機能が見直され、その保護・育成が重要視されていますが、樹木の生育は数十年が1サイクル。長い年月と地道な努力が必要です。

道志水源かん養林の歴史は古く、横浜市が大正5年に水道の源泉を守るため、山梨県から山林約2,780haを買収した時から始まります。それから約90年にわたり、限りある水資源を最大限かつ効率的に活用するため、森林の保護・育成を地元道志村の協力を得ながら努めてきました。



道志村役場前の獅子頭共用柱



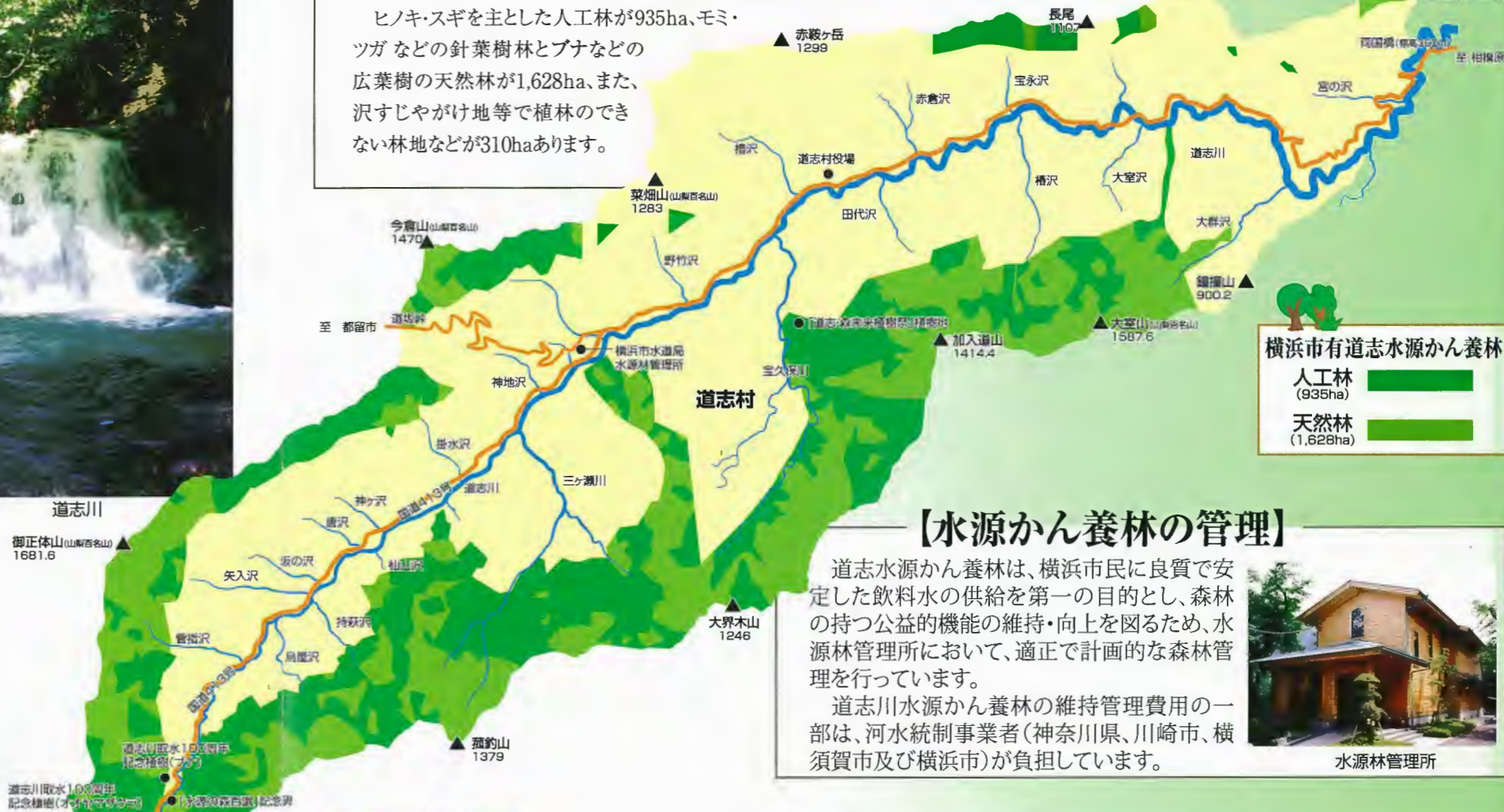
道志川

## 道志水源かん養林の現況

### 【面積・種類】

横浜市が保有する道志水源かん養林の面積は、2,873ha(横浜スタジアム約1,097個分 2,873ha=28,730,000㎡ 横浜スタジアム=26,200㎡ 28,730,000/26,200=1096.56個)。これは道志村の総面積の36%にあたり、都筑区の面積とほぼ同じです。

ヒノキ・スギを主とした人工林が935ha、モミ・ツガなどの針葉樹林とブナなどの広葉樹の天然林が1,628ha、また、沢すじやがけ地等で植林のできない林地などが310haあります。



横浜市有道志水源かん養林  
人工林 (935ha)  
天然林 (1,628ha)

### 【水源かん養林の管理】

道志水源かん養林は、横浜市民に良質で安定した飲料水の供給を第一の目的とし、森林の持つ公益的機能の維持・向上を図るため、水源林管理所において、適正で計画的な森林管理を行っています。

道志川水源かん養林の維持管理費用の一部は、河水統制事業者(神奈川県、川崎市、横須賀市及び横浜市)が負担しています。



水源林管理所

## 水を貯える・水を浄化する・洪水を防ぐ 水源かん養林の働き

水源かん養林とは、森林の保水能力を積極的に活用したもので、いわば形のない貯水池「緑のダム」なのです。

### 水を貯える



森林の土壌は樹木の葉や枝が何年にもわたって堆積し、厚い腐食層を形成します。この腐食層はスポンジのように吸湿性に富み、その重量の数倍の水を吸い込むことができるため、たくさんの雨水を貯えることができます。

### 水を浄化する



森林に降った雨は、保水能力の高い森林土壌にたっぷり吸収され、ゆっくり地中に浸透することで良質な地下水に浄化されます。

### 洪水を防ぐ

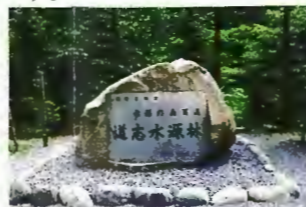


地下水は湧き水となって再び地上に現れ、河川となります。もし山々に森林がないと、降った雨は地表をいっきよにすべり落ち、瞬時に海に流れ去ってしまいます。水源かん養林は、雨水の河川への流出量を調節し洪水を防ぐ機能を持っています。

### 「水源の森百選」

「水源の森百選」とは、平成7年に林野庁が森林の役割を紹介し理解を深めるため、水を仲立ちとして森林と人との理想的な関係がつけられている代表的な森を選定したものです。

道志水源かん養林は、その「水源の森百選」に選定され、記念の石碑が建てられました。



カワセミ

### 【人工林の保護育成】

道志水源かん養林の約33%を占める人工林は植林後の手入れが不十分だと保水能力が低下するため、道志村の多数の方に下草刈・枝打ち・間伐等、森林の保護・育成作業をお願いしています。

針広混交林とすることで、生物多様性の森林となり、水源かん養機能が向上する最も効果的な方法と考え、計画的な維持管理を行っています。

※混交林

針葉樹林の大木の中に保水機能の高い広葉樹が混生する森林。



# 水源保全の取り組み

## 【道志水源林ボランティア事業】

横浜市が保有している水源かん養林については約90年にわたって計画的に維持管理を行ってきました。

しかし、道志村の約半分を占める3,700haの民有林の中には、人手不足等で管理が行き届かない森が増え、水源かん養機能の低下が進んでいます。

そこで、水源かん養機能の高い森に再生させるため、ボランティア活動組織「NPO法人道志水源林ボランティアの会」と水道局が協働で活動を進めています。



ボランティア作業の様子

### ★道志水源林ボランティア募集

「NPO法人道志水源林ボランティアの会」では、「私たちの飲む水と水源の森は、私たち市民が自ら守り育て、次世代へ引き継ぐ」ことを基本理念に道志の森を再生させる活動を進めています。

皆さまの積極的な活動参加をお待ちしています。未経験の方でもインストラクターが指導しますので、まずは体験活動から参加してみませんか。

- 活動期間：4月から11月の月2回程度
- 活動日：JR関内駅 ↔ 道志村(バス) 8:00発 18:30帰着予定
- 年会費：2,000円(体験活動は無料)
- 申込等問合せ：045-664-3972 (NPO法人道志水源林ボランティアの会)

「NPO法人道志水源林ボランティアの会」ホームページ <http://www.doshi-suigenrin.jp/>

## 【水のふるさと道志の森基金】

道志水源林ボランティア活動を支援し、活動に参加できない方にも資金協力という形で水源保全に参加していただけるよう、市民の皆さまからの寄附やペットボトル水「はまっ子どうし The Water」の売り上げの一部を受け入れる「水のふるさと道志の森基金」を設置しています。皆さまのご協力を心からお待ちしています。

寄附は区役所・水道局事業所等に置いてあるリーフレットでお申し込みいただくか、水道局浄水課(045-671-3329)へご連絡ください。水道局ウェブサイトからもお申し込みいただけます。

**市民・企業からの寄附**  
ペットボトル水「はまっ子どうし The Water」の売り上げ

資金面での協力 = 活動サポート

水のふるさと **道志の森基金**

水源保全活動を安定して支える財政基盤

道志の民有林を整備するボランティア活動に使われます

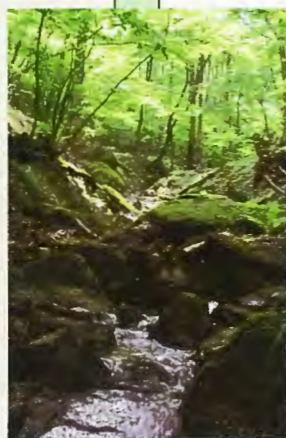
道志の森の水源かん養機能が向上していきます！ CO<sub>2</sub>削減にも効果があるよ。

## 【生活排水処理事業への助成】

かつて、道志村で発生する生活排水のほとんどは、処理されなかったため、道志川の水質に対する影響が心配されていました。

このため、道志村では平成12年度に生活排水処理基本計画を策定し、13年度から個別処理方式による合併浄化槽の設置を推進しています。

横浜市は事業費の一部を助成し、道志川の水質向上に努めています。



## 【道志水源基金】

道志川から取水を始めて100周年にあたる平成9年、横浜市と道志村が共同で「公益信託道志水源基金」を発足させました。

この基金は、信託財産10億1,000万円をもとに、村の自然環境の保全や生活基盤の向上に資する事業へ助成し、水源地の保全や地域振興、福祉向上などに寄与するものです。

# 道志川からの導水経路

横浜市の保有水源は、道志川系統・相模湖系統・馬入川系統・企業団酒匂川系統・企業団相模川系統の5系統あります。

そのうち道志川系統の水は鮑子取水せきで取水し、青山沈でん池を経てトンネルや管路によって自然流下で29km先の川井浄水場と38km先の西谷浄水場へ送られます。

※企業団とは、神奈川県内広域水道企業団のことで、水道施設の重複投資を避けるとともに施設の効率的な配置と管理などを目的として、神奈川県・横浜市・川崎市・横須賀市の4団体が設立した事業体です。



## 沿革

- 明治20年(1887) 我が国初の近代水道が横浜に誕生。相模川から取水
- 明治30年(1897) 相模川からの取水を支流の道志川に変更。以後道志川から取水
- 明治44年(1911) 水源地方の造林奨励のため、水道水源流域内造林補助規定を制定・実施
- 大正5年(1916) 山梨県から道志村所在の恩賜県有林2,780haを買収、水源かん養林として経営を開始
- 大正8年(1919) 水源かん養を目的に、森林法に基づく第1期施業計画(10か年計画)を実施。以後、10年毎に施業計画を実施
- 大正9年(1920) 大暴風雨により山津波が発生、水源林が大被害を受ける。
- 大正10年(1921) 水源林復旧計画として砂防工事(5か年計画)を実施
- 大正11年(1922) 私有林81.69haを購入
- 大正12年(1923) 関東大震災により、水源林は甚大な被害を受ける。
- 大正13年(1924) 震災後の荒廃地復旧工事(5か年計画)を実施
- 大正14年(1925) 水源林の一部がはじめて土砂流出防保安林に編入
- 昭和6年(1931) 荒廃地復旧工事を昭和10年まで継続実施
- 昭和13年(1938) 旧農林省が荒廃林地復旧事業(10か年計画)を実施
- 昭和15年(1940) 直営事業として木炭生産を開始。木炭の統制が撤廃された昭和25年まで継続
- 昭和18年(1943) 旧農林省が道志川集水区林野の砂防工事を実施
- 昭和26年(1951) 水源林のほぼ全域が森林法に基づく水源かん養保安林に指定される。
- 昭和63年(1988) 水源林の一部に複層林施業実施
- 平成3年(1991) 第8期施業計画を一部変更
- 平成4年(1992) 私有林14.39haを購入
- 平成6年(1994) 水源林整備基本計画調査業務終了
- 平成7年(1995) 林野庁から「水源の森百選」に認定される。
- 平成8年(1996) 第9期施業計画(10か年計画)を実施
- 平成9年(1997) 公益信託道志水源基金が発足  
道志川取水100周年記念植樹  
私有林4.22haを購入
- 平成13年(2001) 「道志・森未来植樹祭」を実施
- 平成15年(2003) 道志水源林ボランティア事業の創設  
道志川上流の清流水をペットボトルに詰めた「はまっ子どうし」発売開始
- 平成16年(2004) 横浜市と道志村の友好・交流に関する協定締結
- 平成17年(2005) 「道志水源林ボランティア事業」の登録者が、「道志水源林ボランティアの会」を設立
- 平成18年(2006) 市民・企業の寄附と、ペットボトル水「はまっ子どうし」の売り上げの一部などからなる「水のふるさと道志の森基金」を設置  
第10期 管理計画(10か年計画)を実施
- 平成20年(2008) 「道志水源林ボランティアの会」が特定非営利活動法人(NPO法人)となる。
- 平成21年(2009) 横浜開港150周年  
水源エコプロジェクト(W-eco-p)事業開始



横浜市水道局キャラクター はまっピョン

※施業…森林管理における一連の行為